

材 料 試 験 成 績 表

5	号	碎	石			
6	号	碎	石			
7	号	碎	石			
ス	ク	リ	ニ	ン	グ	ス
粗						砂
石						粉

骨 材 試 験 成 績 表

目的 配 合 設 計

報告者 津 田 喜 明

項 目	5号碎石	6号碎石	7号碎石	スクリーニングス	粗砂	石粉		備 考
産地	岡山県 勝央町	岡山県 勝央町	岡山県 勝央町	岡山県 勝央町	佐賀県 唐津市	岡山県 新見市		
材質	安山岩	安山岩	安山岩	安山岩	海砂	石灰岩		
会社名	(株)佐藤碎石	(株)佐藤碎石	(株)佐藤碎石	(株)佐藤碎石	(株)住若	足立石灰工業(株)		
試 験 項 目	5号碎石	6号碎石	7号碎石	スクリーニングス	粗砂	石粉		品質規格
比 重 (g/cm ³)	表乾	2.636	2.630	2.631	2.668	2.583	-	
	かさ	2.597	2.588	2.591	2.621	2.539	-	
	見掛	2.703	2.701	2.701	2.750	2.656	2.71	2.45以上
吸水量 (%)	1.50	1.62	1.56	1.78	1.74	0.01		3.0以下
すり減り減量 (%)	-	17.5	-	-	-	-		30以下
骨材中の粘土塊量試験(%)	0.09	0.07	-	-	-	-		0.25以下
形状試験 (%)	1.71	1.66	-	-	-	-		
項 目	5号碎石	6号碎石	7号碎石	スクリーニングス	粗砂	石粉		備考
粒 度	31.5							
	26.5 mm	100.0						
	19.0	99.5	100.0					
	13.2	0.4	99.4	100.0	100.0	100.0		
	9.5							
	4.75		4.9	100.0	100	98.5		
	2.36		0.3	6.9	93.9	90.7		
	0.60			0.2	47.5	47.5		
	0.30				20.4	20.1	100.0	
	0.15				14.6	2.2	97.9	
0.075				10.7	1.3	88.0		

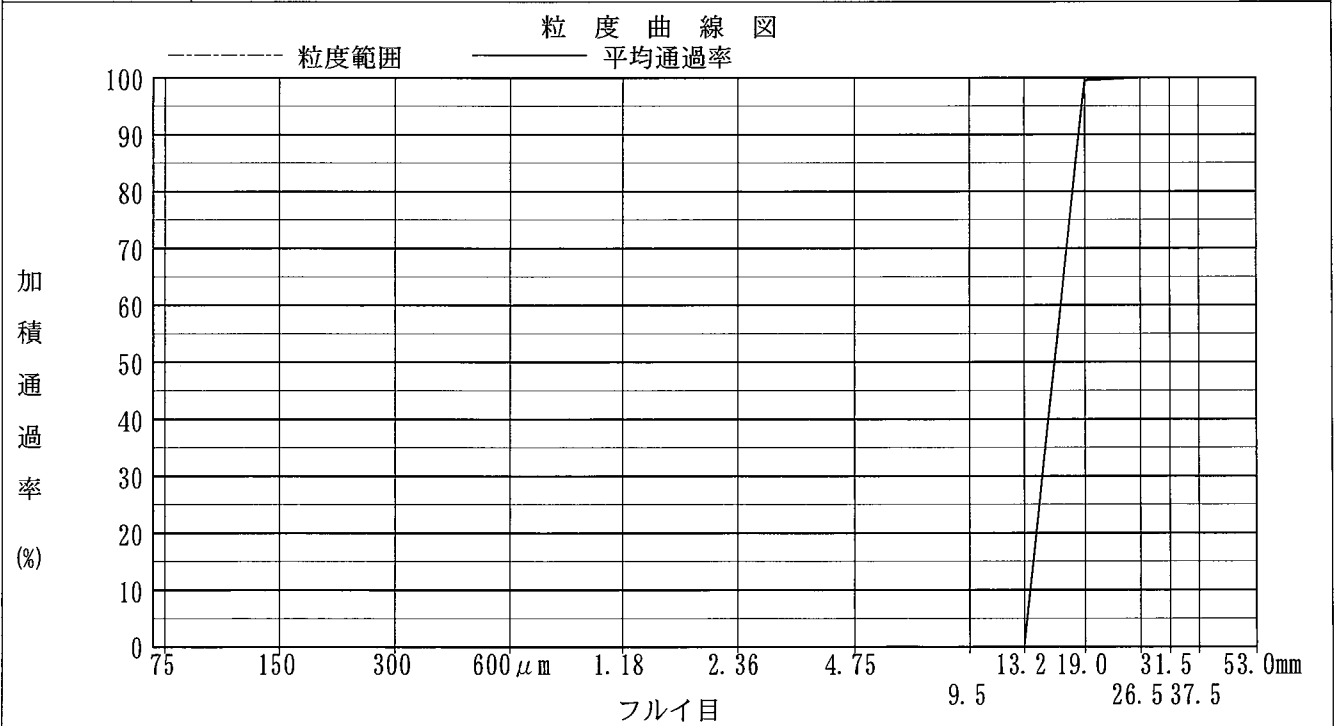
5 号 碎 石

JIS A 1102	骨材ふるい分け試験	試験用紙 報告
------------	-----------	------------

試料番号	5号砕石	試験年月日	2025年12月
調査名・目的	配合設計	使用場所・目的	
試料採取場所	(株)佐藤砕石	試験者	津田 喜明

フルイ寸法	試験結果			試験結果			平均 加積 通過率 (%)
	加積 残留質量 (g)	加積 残留率 (%)	加積 通過率 (%)	加積 残留質量 (g)	加積 残留率 (%)	加積 通過率 (%)	
53.0 mm							
37.5							
31.5							
26.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
19.0	25.6	0.6	99.4	22.3	0.5	99.5	99.5
13.2	4505.7	99.8	0.2	4661.2	99.5	0.5	0.4
9.5							
4.75							
2.36							
1.18							
600 μm							
300							
150							
75							
合計	4516.2	100.0	0.0	4685.4	100.0	0.0	0.0

備考	
----	--



JIS A 1110

粗骨材の密度および吸水量試験

試験用紙
報告

試料番号 5号砕石

試験年月日 2025年12月

調査名・目的 配合設計

使用場所・目的

試料採取場所 (株)佐藤砕石

試験者 津田 喜明

骨材の最大寸法 20 mm

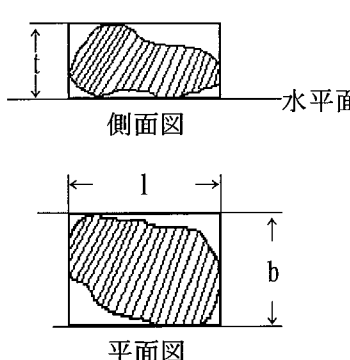
試料の採取日時

試験時の水温 21 °C

試料の浸せき時間 時間

測定番号		1	2	3	4
① 表乾試料 + 容器質量 (g)		2069.8	2076.4		
② 容器質量 (g)					
③ 表乾試料質量 (g)	①-②	2069.8	2076.4		
④ (かご+試料) 水中質量 (g)		1649.7	1652.2		
⑤ かごの水中質量 (g)		362.7	362.7		
⑥ 試料の水中質量 (g)	④-⑤	1287.0	1289.5		
⑦ 表乾密度 (g/cm ³)	$\frac{③ \times \rho_w}{③ - ⑥}$	2.639	2.633		
平均値		2.636			
⑧ 乾燥後の試料質量 (g)		2039.6	2045.3		
⑨ かさ密度 (g/cm ³)	$\frac{⑧ \times \rho_w}{③ - ⑥}$	2.600	2.594		
平均値		2.597			
⑩ 見掛密度 (g/cm ³)	$\frac{⑧ \times \rho_w}{⑧ - ⑥}$	2.705	2.701		
平均値		2.703			
⑪ 吸水率 (%)	$\frac{③ - ⑧}{⑧} \times 100$	1.48	1.52		
平均値		1.50			

注) 試験温度 21°Cにおける水の密度 (ρ_w) は 0.9980g/cm³
 土粒子の密度 ρ_s g/cm³ $2.703 \times 0.9980 = 2.698$

舗装調査・試験法便覧	骨材の形状試験		試験報告用紙
骨材の種類 <u>5号砕石</u>	試験年月日 <u>2025年12月</u>		
骨材の材質 <u>安山岩</u>	試験者 <u>津田 喜明</u>		
骨材の産地 <u>岡山県勝央町</u>			
骨材の最大寸法 <u>20.0</u> mm			
測定番号	1	2	
① 4.75mm以上の試料質量 (g)	1046.5	1060.4	
② 細長あるいは扁平な骨材の総質量 (g)	17.6	18.5	
③ ②以外の良形状骨材質量 (g)	①-②	1028.9	
④ 細長いあるいは扁平な骨材の含有量 (%)	②/①×100	1.68	
⑤ 平均値 (%)	1.71		
<p>※ 次の式に当てはまる骨材とする。 $l / t \geq 5$</p> <p>備考</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>側面図</p> <p>平面図</p> </div> <div style="font-size: small;"> <p>b : 短径…粒子の平面図において、輪郭に接する2つの平行線間の最小距離</p> <p>l : 長径…上記の平行線間で、短径に対して直角方向の最大距離</p> <p>t : 厚さ…水平面に平行で粒子表面に接する平行面間の最大距離</p> </div> </div> <p>骨材を水平な面の上に置いたとき、最も安定した状態を上から見た図を平面図とする。</p>			

JIS A 1137		骨材中の粘土塊量試験		試験用紙 報告	
試験番号 <u>5号砕石</u>		試験年月日 <u>2025年12月</u>			
調査名・目的 <u>配合設計</u>		使用場所・目的 _____			
試験採取場所 <u>(株)佐藤砕石</u>		試験者 <u>津田 喜明</u>			
骨材の最大寸法 <u>20</u> mm		乾燥試験質量 _____ g			
測定番号		1	2		
① 1.2mm, 4.75mmふるいに留まる試験質量 (g)		2710.8	2713.3		
② 試験後0.6mm, 2.36mmに留まる試験質量 (g)		2708.4	2711.0		
③ 砕けた試験質量 (g)	①-②	2.4	2.3		
④ 粘土塊含有百分率 (%)	$\frac{③}{①} \times 100$	0.09	0.08		
平均値 (%)		0.09			
備考					

6 号 碎 石

JIS A 1102

骨材ふるい分け試験

試験用紙
報告

試料番号 6号砕石

試験年月日 2025年12月

調査名・目的 配合設計

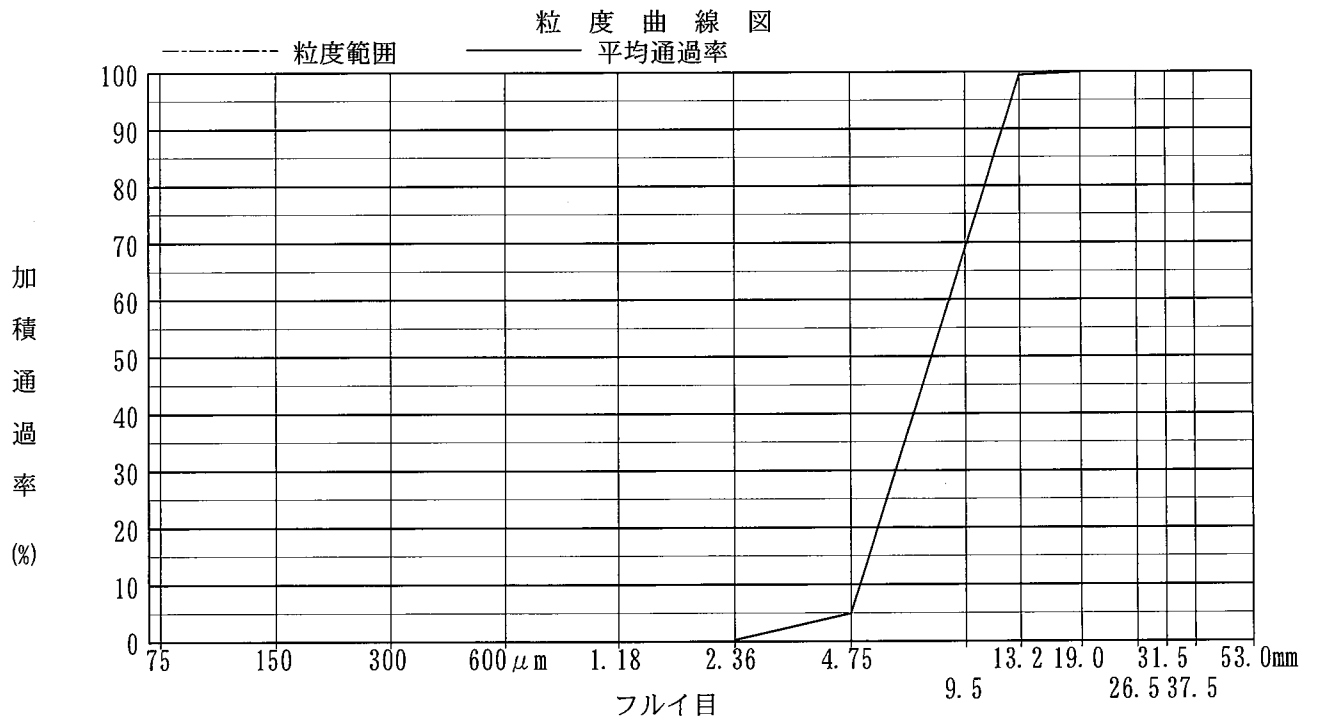
使用場所・目的 _____

試料採取場所 (株)佐藤砕石

試験者 津田 喜明

フルイ寸法	加積			加積			平均 加積 通過率 (%)
	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	
53.0 mm							
37.5							
31.5							
26.5							
19.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
13.2	20.7	0.7	99.3	14.6	0.5	99.5	99.4
9.5							
4.75	2821.2	95.4	4.6	2759.4	94.8	5.2	4.9
2.36	2951.9	99.8	0.2	2901.2	99.7	0.3	0.3
1.18							
600 μm							
300							
150							
75							
合計	2958.2	100.0	0.0	2910.4	100.0	0.0	0.0

備考



JIS A 1110		粗骨材の密度および吸水量試験		試験用紙 報告	
試験番号 <u>6号砕石</u>		試験年月日 <u>2025年12月</u>			
調査名・目的 <u>配合設計</u>		使用場所・目的 _____			
試験採取場所 <u>(株)佐藤砕石</u>		試験者 <u>津田 喜明</u>			
骨材の最大寸法 <u>13 mm</u>		試験の採取日時 _____			
試験時の水温 <u>21 ℃</u>		試験の浸せき時間 _____ 時間			
測定番号		1	2	3	4
① 表乾試料 + 容器質量 (g)		1366.9	1366.8		
② 容器質量 (g)					
③ 表乾試料質量 (g)	①-②	1366.9	1366.8		
④ (かご+試料) 水中質量 (g)		1210.5	1211.1		
⑤ かごの水中質量 (g)		362.7	362.7		
⑥ 試料の水中質量 (g)	④-⑤	847.8	848.4		
⑦ 表乾密度 (g/cm ³)	$\frac{③ \times \rho_w}{③ - ⑥}$	2.628	2.631		
平均値		2.630			
⑧ 乾燥後の試料質量 (g)		1344.9	1345.3		
⑨ かさ密度 (g/cm ³)	$\frac{⑧ \times \rho_w}{③ - ⑥}$	2.586	2.590		
平均値		2.588			
⑩ 見掛密度 (g/cm ³)	$\frac{⑧ \times \rho_w}{⑧ - ⑥}$	2.700	2.702		
平均値		2.701			
⑪ 吸水率 (%)	$\frac{③ - ⑧}{⑧} \times 100$	1.64	1.60		
平均値		1.62			
注) 試験温度 21℃における水の密度 (ρ_w) は 0.9980g/cm ³ 土粒子の密度 ρ_s g/cm ³ $2.701 \times 0.9980 = 2.696$					

JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

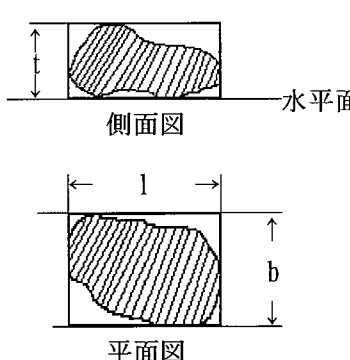
試験用紙
報告試料番号 6号砕石 試験年月日 2025年12月調査名・目的 配合設計 使用場所・目的 _____試料採取場所 (株)佐藤砕石 試験者 津田 喜明骨材の種類 砕石 鋼球の数 8 個粒度区分 13.2~4.75 mm 鋼球の質量 3312 g試料質量 5000.0 g 回転数 500 回

ふるい目の開き (mm)	試験前の粒度			試験後の粒度					
	累加残留質量 (g)	累加残留質量百分率 (%)	通過質量百分率 (%)	1			2		
				累加残留質量 (g)	累加残留質量百分率 (%)	通過質量百分率 (%)	累加残留質量 (g)	累加残留質量百分率 (%)	通過質量百分率 (%)
63.0									
53.0									
37.5									
31.5									
26.5									
19.0									
13.2									
9.5									
4.75									
2.36									
1.7									
試料質量									

すりへり試験結果

測定番号		1	2
①	試験前の試料質量 (g)	5000.0	5000.0
②	試験後の試料質量 (g)		
③	1.7mmふるい残留物の水洗い後の質量 (g)	4124.0	
④	すりへり損失質量 (g)	①-③	876.0
⑤	すりへり減量 (%)	④/①×100	17.5
平均値 (%)		17.5	

備考

舗装調査・試験法便覧	骨材の形状試験	試験報告用紙	
骨材の種類 <u>6号碎石</u>		試験年月日 <u>2025年12月</u>	
骨材の材質 <u>安山岩</u>		試験者 <u>津田 喜明</u>	
骨材の産地 <u>岡山県勝央町</u>			
骨材の最大寸法 <u>13.2 mm</u>			
測定番号		1	2
① 4.75 mm以上の試料質量 (g)		1065.3	1059.2
② 細長あるいは扁平な骨材の総質量 (g)		18.5	16.7
③ ②以外の良形状骨材質量 (g)	①-②	1046.8	1042.5
④ 細長いあるいは扁平な骨材の含有量 (%)	$\frac{②}{①} \times 100$	1.74	1.58
⑤ 平均値 (%)		1.66	
<p>※ 次の式に当てはまる骨材とする。 $l / t \geq 5$</p> <p>備考</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>側面図</p> <p>平面図</p> </div> <div style="text-align: left;"> <p>b : 短径…粒子の平面図において、輪郭に接する2つの平行線間の最小距離</p> <p>l : 長径…上記の平行線間で、短径に対して直角方向の最大距離</p> <p>t : 厚さ…水平面に平行で粒子表面に接する平行面間の最大距離</p> </div> </div> <p>骨材を水平な面の上に置いたとき、最も安定した状態を上から見た図を平面図とする。</p>			

JIS A 1137

骨材中の粘土塊量試験

試験用紙
報告試料番号 6号砕石 試験年月日 2025年12月調査名・目的 配合設計 使用場所・目的 _____試料採取場所 (株)佐藤砕石 試験者 津田 喜明骨材の最大寸法 13 mm 乾燥試料質量 _____ g

測定番号		1	2
① 1.2mm, 4.75mmふるいに留まる試料質量 (g)		1298.8	1279.9
② 試験後0.6mm, 2.36mmに留まる試料質量 (g)		1298.0	1279.0
③ 砕けた試料質量 (g)	①-②	0.8	0.9
④ 粘土塊含有百分率 (%)	$\frac{③}{①} \times 100$	0.06	0.07
平均値 (%)		0.07	

備考

7 号 碎 石

JIS A 1102

骨材ふるい分け試験

試験用紙
報告

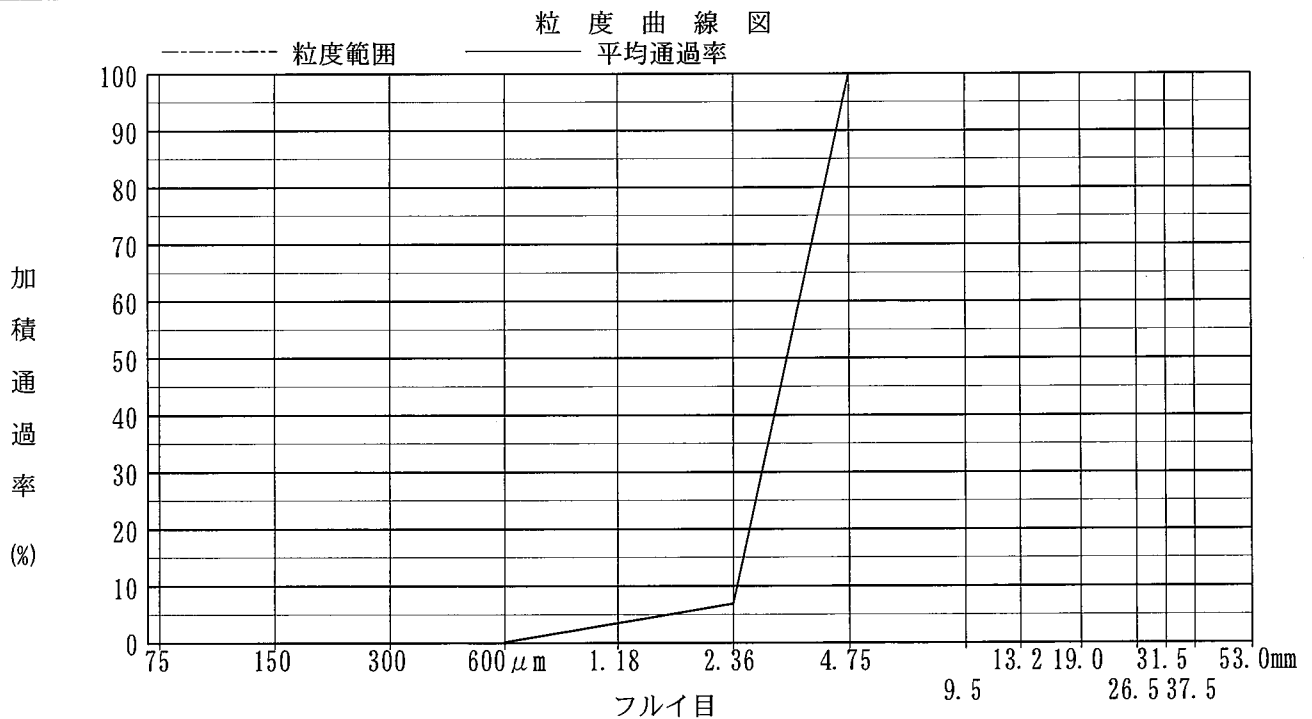
試料番号 7号碎石 試験年月日 2025年12月

調査名・目的 配合設計 使用場所・目的 _____

試料採取場所 (株)佐藤碎石 試験者 津田 喜明

フルイ寸法	加積			加積			平均 加積 通過率 (%)
	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	
53.0 mm							
37.5							
31.5							
26.5							
19.0							
13.2							
9.5							
4.75	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
2.36	1206.2	92.6	7.4	1207.0	93.7	6.3	6.9
1.18							
600 μm	1299.6	99.8	0.2	1286.6	99.8	0.2	0.2
300							
150							
75							
合計	1302.1	100.0	0.0	1288.7	100.0	0.0	0.0

備考



JIS A 1110

粗骨材の密度および吸水量試験

試験用紙
報告試料番号 7号碎石試験年月日 2025年12月調査名・目的 配合設計

使用場所・目的 _____

試料採取場所 (株)佐藤碎石試験者 津田 喜明骨材の最大寸法 5 mm

試料の採取日時 _____

試験時の水温 21 °C

試料の浸せき時間 _____ 時間

測定番号		1	2	3	4
① 表乾試料 + 容器質量 (g)		533.8	534.8		
② 容器質量 (g)					
③ 表乾試料質量 (g)	①-②	533.8	534.8		
④ (かご+試料) 水中質量 (g)		694.2	694.5		
⑤ かごの水中質量 (g)		362.7	362.7		
⑥ 試料の水中質量 (g)	④-⑤	331.5	331.8		
⑦ 表乾密度 (g/cm ³)	$\frac{③ \times \rho_w}{③ - ⑥}$	2.633	2.629		
平均値		2.631			
⑧ 乾燥後の試料質量 (g)		525.7	526.5		
⑨ かさ密度 (g/cm ³)	$\frac{⑧ \times \rho_w}{③ - ⑥}$	2.593	2.588		
平均値		2.591			
⑩ 見掛密度 (g/cm ³)	$\frac{⑧ \times \rho_w}{⑧ - ⑥}$	2.702	2.699		
平均値		2.701			
⑪ 吸水率 (%)	$\frac{③ - ⑧}{⑧} \times 100$	1.54	1.58		
平均値		1.56			

注) 試験温度 21°Cにおける水の密度 (ρ_w) は 0.9980g/cm³土粒子の密度 ρ_s g/cm³ $2.701 \times 0.9980 = 2.696$

スクリーニング`ス

JIS A 1102

骨材ふるい分け試験

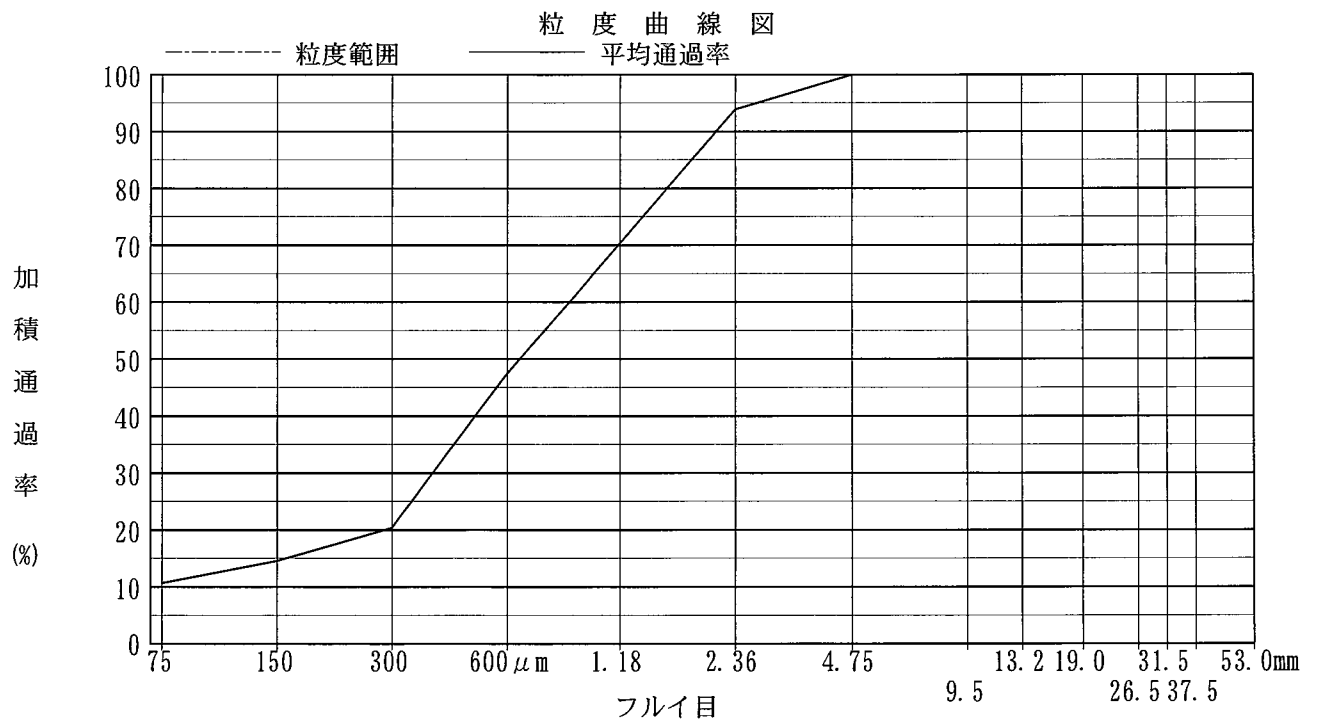
試験用紙
報告試料番号 スクリーニングス試験年月日 2025年12月調査名・目的 配合設計

使用場所・目的 _____

試料採取場所 (株)佐藤砕石試験者 津田 喜明

フルイ寸法	加積			加積			平均 加積 通過率 (%)
	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	残留質量 (g)	残留率 (%)	通過率 (%)	
53.0 mm							
37.5							
31.5							
26.5							
19.0							
13.2							
9.5							
4.75	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
2.36	49.5	6.9	93.1	39.0	5.3	94.7	93.9
1.18							
600 μ m	384.1	53.6	46.4	377.4	51.4	48.6	47.5
300	578.9	80.8	19.2	575.5	78.4	21.6	20.4
150	617.9	86.2	13.8	620.9	84.6	15.4	14.6
75	643.5	89.8	10.2	651.7	88.8	11.2	10.7
合計	716.5	100.0	0.0	733.8	100.0	0.0	0.0

備考



JIS A 1109		細骨材の密度および吸水量試験		試験用紙 報告	
試験番号 <u>スクリーニングス</u>		試験年月日 <u>2025年12月</u>			
調査名・目的 <u>配合設計</u>		使用場所・目的 _____			
試験採取場所 <u>(株)佐藤碎石</u>		試験者 <u>津田 喜明</u>			
試験採取日時 _____					
試験時の水温 <u>20</u> °C		フラスコの容積(A) <u>500</u> cc			
測定番号		1	2	3	4
フラスコ番号		1	2		
① (フラスコ+試料)質量 (g)		692.0	690.5		
② フラスコ質量 (g)		191.3	190.2		
③ 試料質量 (g)	①-②	500.7	500.3		
④ (フラスコ+試料+水)質量 (g)		1004.3	1003.7		
⑤ 加えた水の質量 (g)	④-①	312.3	313.2		
⑥ 表乾密度 (g/cm ³)	$\frac{③ \times \rho_w}{(A) - ⑤}$	2.663	2.673		
平均値		2.668			
⑦ 乾燥後の試料質量 (g)		491.8	491.7		
⑧ かさ密度 (g/cm ³)	$\frac{⑦ \times \rho_w}{(A) - ⑤}$	2.615	2.627		
平均値		2.621			
⑨ 含水量 (g)	③-⑦	8.9	8.6		
⑩ 見掛密度 (g/cm ³)	$\frac{⑦ \times \rho_w}{(A) - ⑤ - ⑨}$	2.746	2.754		
平均値		2.750			
⑪ 吸水率 (%)	$\frac{⑨}{⑦} \times 100$	1.81	1.75		
平均値		1.78			
注) 試験温度 20°Cにおける水の密度 (ρ_w) は 0.9982g/cm ³					

粗

砂

JIS A 1102

骨材ふるい分け試験

試験用紙
報告

試料番号 粗砂 試験年月日 2025年12月

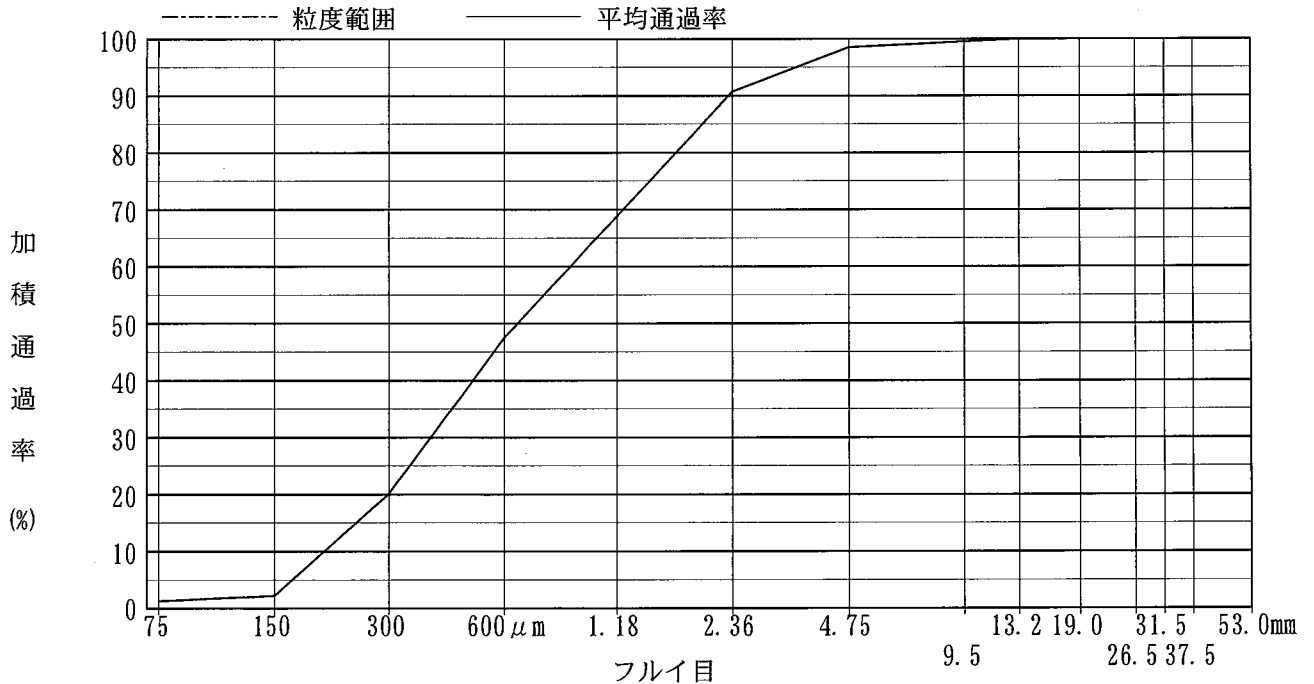
調査名・目的 配合設計 使用場所・目的 _____

試料採取場所 ストックヤード 試験者 津田 喜明

フルイ寸法	加積 残留質量 (g)	加積 残留率 (%)	加積 通過率 (%)	加積 残留質量 (g)	加積 残留率 (%)	加積 通過率 (%)	平均 加積 通過率 (%)
53.0 mm							
37.5							
31.5							
26.5							
19.0							
13.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
9.5							
4.75	12.3	2.0	98.0	6.8	1.0	99.0	98.5
2.36	63.3	10.2	89.8	57.6	8.5	91.5	90.7
1.18							
600 μm	332.1	53.3	46.7	352.2	51.7	48.3	47.5
300	502.8	80.6	19.4	540.0	79.3	20.7	20.1
150	610.6	97.9	2.1	665.6	97.7	2.3	2.2
75	615.4	98.7	1.3	672.8	98.8	1.2	1.3
合計	623.5	100.0	0.0	681.2	100.0	0.0	0.0

備考

粒度曲線図



JIS A 1109		細骨材の密度および吸水量試験		試験用紙 報告	
試験番号 <u>粗砂</u>		試験年月日 <u>2025年12月</u>			
調査名・目的 <u>配合設計</u>		使用場所・目的 _____			
試験採取場所 <u>ストックヤード</u>		試験者 <u>津田 喜明</u>			
試験採取日時 _____					
試験時の水温 <u>20</u> °C		フラスコの容積 (A) <u>500</u> cc			
測定番号		1	2	3	4
フラスコ番号		No.1	No.2		
① (フラスコ+試料)質量 (g)		691.6	692.6		
② フラスコ質量 (g)		191.3	190.2		
③ 試料質量 (g)	①-②	500.3	502.4		
④ (フラスコ+試料+水)質量 (g)		998.3	998.4		
⑤ 加えた水の質量 (g)	④-①	306.7	305.8		
⑥ 表乾密度 (g/cm ³)	$\frac{③ \times \rho_w}{(A) - ⑤}$	2.584	2.582		
平均値		2.583			
⑦ 乾燥後の試料質量 (g)		491.7	493.9		
⑧ かさ密度 (g/cm ³)	$\frac{⑦ \times \rho_w}{(A) - ⑤}$	2.539	2.539		
平均値		2.539			
⑨ 含水量 (g)	③-⑦	8.6	8.5		
⑩ 見掛密度 (g/cm ³)	$\frac{⑦ \times \rho_w}{(A) - ⑤ - ⑨}$	2.657	2.655		
平均値		2.656			
⑪ 吸水率 (%)	$\frac{⑨}{⑦} \times 100$	1.75	1.72		
平均値		1.74			
注) 試験温度 20℃における水の密度 (ρ_w) は 0.9982g/cm ³					

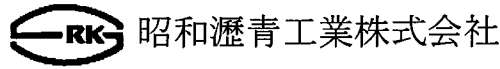
石 粉

アスファルト試験成績表

ストレートアスファルト 60-80

ポリマー改質アスファルト II 型

再生混合用ポリマー改質アスファルト

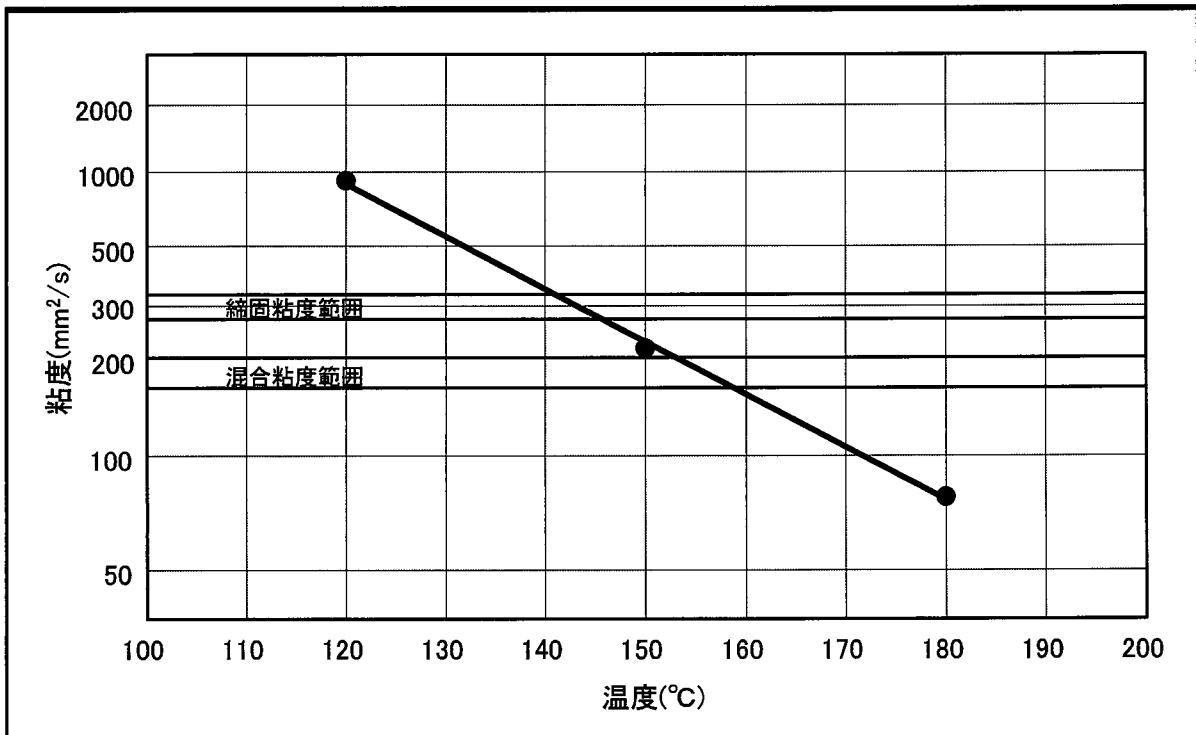


アスファルト試験成績表

品名: ストレートアスファルト60~80

(令和7年12月代表性状)

試験項目	試験結果	規格値 (J I S)
針入度 (25°C) 1/10mm	68	60を超え80以下
軟化点 °C	46.5	44.0~52.0
伸度 (15°C) cm	100+	100以上
トルエン可溶分 %	99.36	99.0以上
引火点 °C	364	260以上
薄膜加熱質量変化率 %	0.05	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	63.2	55以上
蒸発後の針入度比 %	88	110以下
密度 (15°C) g/cm ³	1.040	1.000以上
動粘度 mm ² /s	120°C	919
	150°C	215
	180°C	77
混合温度 °C	153~159	
締固温度 °C	141~146	



※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

Lot. No.

Date. 2025年 12月 1日

試験成績表

大成ロテック株式会社
鳥取合材工場 御中



品名：エポックファルトD
ポリマー改質アスファルトII型

品質保証室	工場長	担当
小柳	森安	森安

試験項目		試験結果	舗装設計施工指針標準的性状
軟化点	°C	63.0	56.0以上
伸度(15°C)	cm	100+	30以上
タフネス(25°C)	N・m	28.5	8.0以上
テナシティ(25°C)	N・m	22.5	4.0以上
針入度(25°C)	1/10mm	55	40以上
薄膜加熱質量変化率	%	+0.06	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	89.1	65以上
引火点	°C	354	260以上
密度(15°C)	g/cm ³	1.032	-
備考	室内配合設計時における推奨温度(°C)		
	混合温度範囲 : 170~185		
	締固め温度範囲 : 160~170		

Lot. No.

Date. 2025年 12月 1日

試験成績表

大成ロテック株式会社
鳥取合材工場 御中



品名：CBバインダーH

再生混合物用ポリマー改質アスファルト

品質保証室	工場長	担当
小柳	森安	森安

試験項目		試験結果	社内規格
軟化点	°C	90.5	75.0以上
伸度(15°C)	cm	100+	80以上
タフネス(25°C)	N・m	26.5	17.0以上
テナシティ(25°C)	N・m	23.5	12.0以上
針入度(25°C)	1/10mm	68	60以上
薄膜加熱後の針入度残留率	%	86.8	65.0以上
引火点	°C	352	260以上
60°C粘度(1×10 ⁴)	Pa・s	10.0+	3.00以上
密度(15°C)	g/cm ³	1.024	—
備考	室内配合設計時における推奨温度(°C)		
	混合温度範囲 :170~185		
	締固め温度範囲:160~170		

再生骨材関係試験成績表

再生骨材の性状試験結果

再生用添加剤
(リサイクルスーパ)

再生骨材抽出試験

再生骨材の針入度推定試験

再生骨材の微粒分量試験

再生骨材の最大密度試験

再生骨材試験結果一覧表	
製造所 大成ロテック(株)鳥取合材工場	報告年月日 2025年12月4日
種類 再生骨材(13-0mm)	試験者氏名 津田 喜明

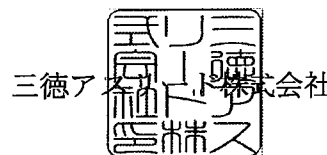
試験項目	平均値	再生骨材規格
粒度試験結果 p a s s a (%)	19.0 (mm)	—
	13.2	—
	4.75	—
	2.36	—
	0.6	—
	0.3	—
	0.15	—
	0.075	—
旧アスファルト含有量 (%)	4.99	3.80 以上
※旧アスファルト針入度 (1/10mm)	24	20 以上
洗試験損失量 (%)	1.56	5 以下
最大比重 (g/m ³)	2.464	—
骨材比重 (g/m ³)	2.656	—

備考

※旧アスファルト針入度は、推定針入度を使用

令和7年 12月 1日

御中



再生用添加剤試験成績表

品名 リセイクールスーパー

12月代表性状

試験結果 (試験報告日 令和7年11月27日)

項目	標準的性状	試験値	備考
動粘度 (60°C) (mPa/S)	80~1,000	86.1	
引火点 (°C)	250以上	256	
薄膜加熱後の粘度比 (60°C)	2以下	1.08	
薄膜加熱質量変化率 (%)	±3以内	-0.62	

報告事項

項目	標準的性状	試験値	備考	
組成分析 (%)	アスファルテン	報告	0.2	
	飽和分	〃	35.0	
	芳香族分	〃	62.2	
	レジン	〃	2.6	
	回収率	〃	100.0	
密度 (15°C) (g/cm ³)	〃	0.926		

アスファルト抽出試験

混合物の種類 再生骨材 (13-0)

試験年月日 2025年12月04日

試験者 津田 喜明

(抽出試験)

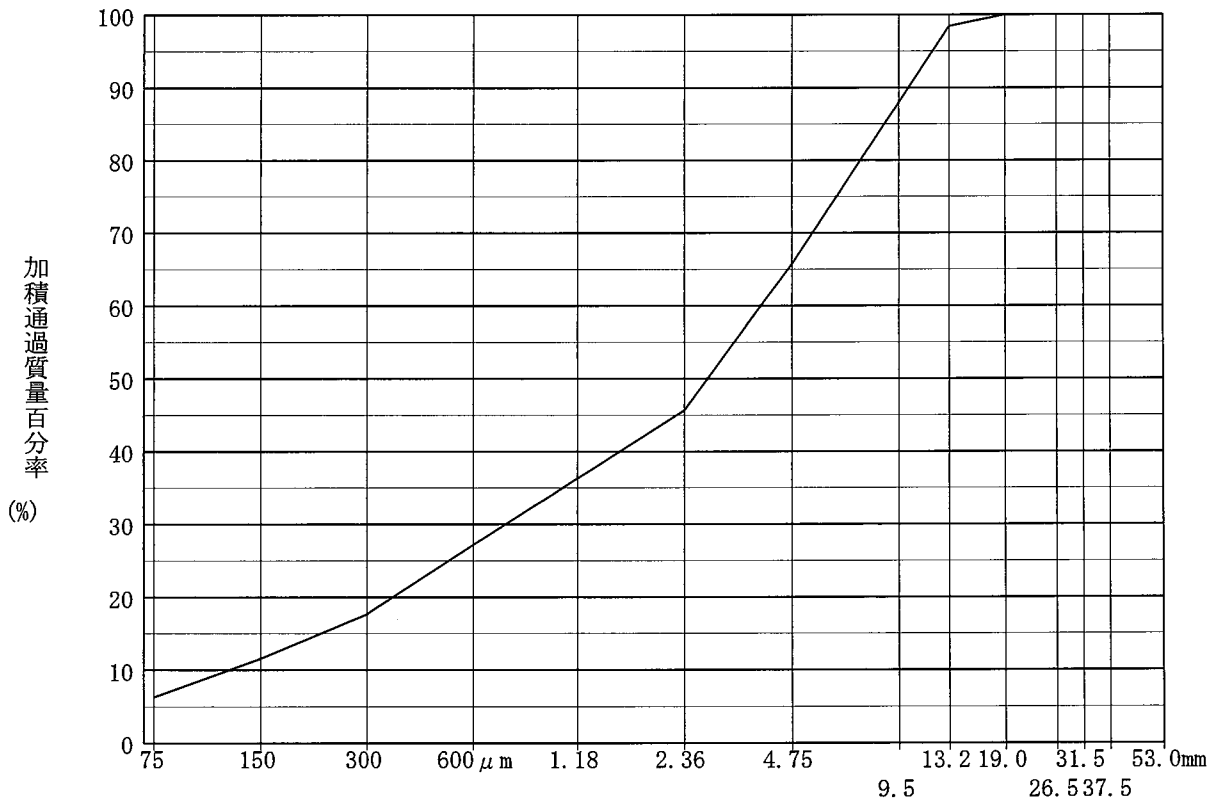
①	試料+ろ紙質量 (g)		1049.6
②	試料質量 (g)	①-④	1044.5
③	抽出骨材質量 (g)		992.3
④	ろ紙質量 (g)		5.1
⑤	(ろ紙+フィルター)質量 (g)		5.2
⑥	フィルター質量 (g)	⑤-④	0.1
⑦	全抽出骨材質量 (g)	③+⑥	992.4
⑧	アスファルト質量 (g)	②-⑦	52.1
⑨	アスファルト含有率(%)	⑧/②×100	4.99

(骨材ふるい分け試験)

項目 ふるい目	加積残留質量 (g)	加積残留率 (%)	加積通過率 (%)
53.0 mm			
37.5			
31.5			
26.5			
19.0	0.0	0.0	100.0
13.2	16.1	1.6	98.4
4.75	340.2	34.3	65.7
2.36	540.1	54.4	45.6
600 μm	722.1	72.8	27.2
300	816.5	82.3	17.7
150	876.9	88.4	11.6
75	930.2	93.7	6.3
計	992.4	100.0	

ソックスレー抽出器使用

粒径加積曲線図



ふるい目
粒度曲線図

プラント日常管理試験成績書

試験年月日	2025年12月4日	混合物の種類	再生骨材5~0mm
-------	------------	--------	-----------

最大密度の測定

フラスコ+乾燥試料重量 (g)	2054.6	2068.3
フラスコ重量 (g)	1494.8	1496.9
乾燥試料重量 (g)	559.8	571.4
フラスコ+水質量+ガラス板 (g)	5090.3	5131.8
フラスコ+試料+水質量+ガラス板 (g)	5419.4	5468.3
最大密度 (g/cm ³)	2.427	2.433
平均 (g/cm ³)	2.430	
配合時の最大密度 (g/cm ³)	-	

針入度推定試験

No.	供試体 平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	かさ密度 (g/cm ³)	理論最大密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	安定度		推定針入度 (1/10mm)
								力計の読み	安定度 (kN)	
1	6.38	1171.5	649.8	1172.8	2.240					
2	6.37	1169.7	647.3	1170.0	2.238		7.9	15.8	15.8	
3	6.38	1169.3	646.2	1170.5	2.230		8.2	16.0	16.0	
4	6.39	1170.3	647.2	1171.5	2.232		8.1	15.9	15.9	
5	6.4	1170.8	646.7	1172.0	2.229					
平均					2.233	2.430	8.1		15.9	23.6

突固め温度 165 ± 2 °C

突固め回数 両面75回

力計の係数 1

理論最大密度 2.430 g/cm³

推定針入度 = -1.29 × 安定度 - 1.84 × 空隙率 + 59

針入度試験

試験条件	温度 25 °C	荷重 100 g	貫入時間 5 秒
針入度測定値 (1/10mm)			
平均値 (1/10mm)			
最大値-最小値 (1/10mm)	-	=	
配合設計時の針入度 (1/10mm)			

測定値の平均値

許容差 (最大値-最小値)

0以上 50.0未満

2.0

50.0以上 150.0未満

4.0

150.0以上 250.0未満

6.0

250.0以上

8.0

摘要

頻度

再生骨材使用量 1回 / 500 t (舗装再生便覧)

骨材の微粒分量試験

試料番号 再生骨材 (13-0)

試験年月日 2025年12月04日

調査名・目的 品質管理

試験者 津田 喜明

測定番号		1	2
① 水洗い前の試料質量 (g)		1592.5	1605.4
② 水洗い後の試料質量 (g)		1568.3	1579.7
③ 流出した試料質量 (g)	①-②	24.2	25.7
④ 75 μmふるいを通過する量の百分率 (%)	③/①	1.52	1.60
⑤ 平均値 (%)		1.56	

